

活動名	団体名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ広島支部
	地域	広島県安芸郡
	代表者	支部長 佐藤 康浩
	支援金額	32万円
<p>中高生ボランティア育成</p>		
<p>活動概要</p> <p>中高生が各行事の企画・運営に主体的に参加し達成感や充実感を味わう。また、各行事の中で、地域の人との多世代交流を通して自分たちが住んでいる地域を再発見することを目指します。</p> <p>実施活動内容は、以下の通り。</p> <p>①体験・講座STEP1「知る×広がる」 ②体験・講座STEP2「こだわり×ライフワーク」 ③運営・実施STEP3「エコ×未来」 ④運営・実施STEP4「祭り×地域」(台風の為中止、11月7日の工作・アートフェスタ参加) ⑤運営・実施STEP5「クリスマス×企画力」 ⑥運営・実施STEP6「L I V E ×企画力」</p> <p>◆実施時期 6月、7月、8月、12月、1月 児童センター、公民館、南区民文化センター、 ひろしま市民活動ネットワークHEART to HEART</p> <p>◆参加人数 STEP1 (7名) STEP2 (23日3名 25日11名) STEP3 (18名の内小学生9名) STEP4 (工作・アートフェスタ参加5名) STEP5 (9名、来館者約150名) STEP6 (30名、来場者200名)</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 83(433)名</p>		



『知る×広がる』



『こだわり×ライフワーク』



『エコ×未来』



譜宙雷舞集合写真

◆実施に伴う効果

今回の講座を通して多くの効果を得ることができた。特に目立ったのは、参加者である中高生だ。当初は、企画？ボランティア？といった様子だったが講座後半からは、参加者同士が認め合いその人に合った役割を見つけ出し責任をもって進める姿が見られた。また、消極的だった当初より意見も出し合う様子も見られるようになってきた。後半のクリスマス会では、これまでのネットワークを活かした団体との出演交渉や事業が終了してからの事も考えられるようになってきた。(外にゴミが落ちてないかを確認など)

活動を通して参加者より「ありがとう」「楽しく参加できました。また企画頑張ってくださいね！また参加するから！」「高校生でここまで企画できるってすごいね」と、たくさんの励ましの言葉も頂いた。中高生のアンケートからは、「初めての経験ばかりでとまどったがお礼を言ってもらいとてもうれしかった。また、企画に携わりたい」「学校の生徒会や文化祭よりも大変だったがその分やりがいを感じることができた。将来、子どもに関わる仕事がしたいと思えた」「毎日の風景がモノクロだったがみんなと出会って毎日が新鮮で生きているって実感できた」など当初に比べ大きく成長していることを実感できた。地域の方々からの周知もされ始め活動に理解を得ることもできた。また、広島市の民生児童委員の方々も見学に来られたりなどもあった。現在、児童センターバンビーズにて中高生委員会(ジョイントフェローシップ)として、センター行事の参加、映画の作成などを行っている。

◆苦勞した点

対象が中高生とあって参加者の確保が難しかった。学校、部活、バイトなど一日の中での時間調整も苦勞した。また、興味が持てるようなキーワード、チラシのデザインなどにも苦勞した点だ。

◆今後の課題・発展の方向性

課題: 連続講座なので開始から参加できるよう工夫が必要だと感じた、また人数確保も課題で今、何について知りたいかなど事前のヒアリングをおこないニーズに合ったプログラムを考えていきたい。

発展・方向性: 現在、センターの中高生委員会(ジョイントフェローシップ)に入り新たな行事を企画中。今後の方向性としてセンター行事だけではなく地域の行事に積極的に参加していきたいと考えている。

◆活動を終えての感想・意見等

中高生という思春期まっさかりの対象とあって終始、苦勞が絶えなかったが日々、成長していく姿をみて担当者も多く事を学ぶことができた。当初、小学生が話を聞いてくれないからふて寝したと言っていた高校生も現在は、会計担当として大事な役割をこなしている。毎日が楽しくない、明日地球が減んでもいいと言っていた子も企画の主担当として全体を把握しテキパキと指示を出している。どの子も児童センターを居場所として認識しており、センターを通じて多くの友人、知人をつくることができたようだ。今後、同じような活動を様々な団体がおこない中高生の居場所につながっていけばと思う。また、このような活動をしている団体がネットワーク構築できる環境ができればと考えている。